

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
- 令和4年9月28日同時配布



令和 4 年 9 月 28 日
国土技術政策総合研究所

国総研資料第 1222 号『土砂災害分野における L 積率法を用いた解析雨量プロダクトの確率化手法』を刊行します！

本資料では、土砂災害分野において土砂災害警戒情報を中心に用いられている国土交通省解析雨量プロダクトに対して L 積率法を適用し、適合度の高い確率分布を得ました。合わせて、100 年程度までの再起期間について、国土数値情報三次メッシュ・全国 1 km²メッシュ単位で確率値を推定すると共に、極値統計や気候値等と比較し適用条件を検討しました。

<目次>

1. 目的
2. 用いたデータの概要
3. 検討手法の概要
4. L 積率法による確率降雨算出結果
5. 分析
6. まとめ

本資料は、国総研ホームページで公開しています。

ダウンロード先 URL : <http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryou/tnn/tnn1222.htm>

(問い合わせ先)

国土技術政策総合研究所 土砂災害研究部 土砂災害研究室

室長 中谷 洋明 (内線 3981)

TEL : 029-864-2213 FAX : 029-864-0903 E-mail: nakaya-h24z@mlit.go.jp